

様式C-33 [作成上の注意]

科学研究費補助金は、国民から徴収された税金等でまかなわれるものであり、研究者は、その成果を社会・国民に説明することが求められています。

この実績報告書は、当該年度内に実施した研究の成果等を記載するもので、その内容は国立情報学研究所の科学研究費補助金データベース(<http://seika.nii.ac.jp>)において広く公開することになります。

この様式の作成に当たっては、次の記入要領にしたがって作成してください。

1. 用紙は、所定の様式を使用すること。なお、1枚の用紙の表裏に印刷したものを正・副あわせて2部作成し提出すること。
2. 研究成果が特許等と関連がある場合には十分留意の上作成し、特に公表を見合わせる必要がある場合には、次の事項を記載した調書（A4判縦長横書1枚）を作成し、本紙（様式C-33）の下に重ねて左肩をホッチキスでとめること。
 - ①研究種目（「奨励研究」と記入すること）
 - ②課題番号
 - ③研究課題名
 - ④所属研究機関に補助金の管理を委任した者は所属、職名及び氏名、それ以外の者は勤務先の名称、職業及び氏名
 - ⑤特許等との関連と公表を見合わせる必要がある理由
 - ⑥公表差し控え期間
3. 「機関番号」欄について
所属研究機関に補助金の管理を委任した者のみ、当該研究機関の機関番号（5桁）を記入すること。
4. 「(a)研究機関名 (b)勤務先の名称」欄について
所属研究機関に補助金の管理を委任した者は(a)について、それ以外の者は(b)について記入すること。なお、実績報告書作成時又は平成22年3月31日のいずれか早い時点での所属研究機関名又は勤務先の名称について記入すること。
5. 「課題番号」欄について
科学研究費補助金の交付決定通知書に記載された課題番号（8桁）を記入すること。
6. 「研究課題名」欄について
交付申請書に記載した研究課題名を記入すること。
7. 「研究代表者」欄について
 - (1) 研究代表者名
研究代表者氏名は、姓と名の間はカンマ（,）で区切って記入すること。
 - (2) 所属部局名
科学研究費取扱規程第2条に規定される研究機関に所属する者は、所属部局名を記入すること。所属部局名（略称可）は実績報告書作成時又は平成22年3月31日のいずれか早い時点での所属部局を記入すること。なお、研究機関に所属しない者については、記入する必要はない。
 - (3) 職名／職業
研究機関に所属する者は、職名を、それ以外の者は職業を記入すること。実績報告書作成時又は平成22年3月31日のいずれか早い時点での職名又は職業を記入すること。

8. 「研究実績の概要」欄について

- (1) 本年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画書」に照らし、600字～800字でできるだけ分かりやすく記述すること。また、記載に当たって、専門用語を多用することは避けること。
- (2) 文章に番号を付して整理する場合は、1、2、3、・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は、(1)、(2)、・・・の順に使用すること。
また、記載はマス目を作成して記入しても構わないほか、横50字×縦12～16行でワードプロセッサ等により浄書をしたものを貼り付け、複写したものを使用しても差し支えない。
- (3) 本様式をもってデータ入力を行いデータベース化しているため、記載は楷書で丁寧に行うこと。また、図、グラフ等文章化できないものについては、データベース化の際支障をきたすので記載しないこと。

9. 「キーワード」欄について

ここでいう「キーワード」とは、大量の研究成果情報の中から特定の研究上の問題に密接に関連する研究成果をコンピュータにより検索する際の手段として用いる語のことをいう。この欄には、当該研究課題の研究成果の内容をよく表していると思われるキーワードを1項目以上3項目以内で記入すること。また、化学式、数式等の使用は極力避けること。

(例)

研究課題	キーワード
ア 高温超伝導体の光電子分光による研究	(1)酸化物高温超伝導体 (2)角度分解光電子分光 (3)フェルミ液体
イ 筋収縮に関与する細胞内カルシウムイオン遊離機構の分子生物学的解析	(1)筋収縮(2)カルシウムイオン (3)分子生物学
ウ 東南アジア諸民族の歴史・文化に関する研究	(1)国際研究者交流(2)民族誌 (3)データベース
エ ヨーロッパにおける古文書の研究	(1)中世史(2)史料学(3)古文書学

10. 「研究発表」欄について

当該年度内に、この研究の研究成果を発表した、①雑誌論文、②学会発表、③図書について次のとおり記入すること。

なお、記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を挿入し、それによりページ数が増加した場合には、左端を糊付けすること。

①雑誌論文

著者（第一著者）名、論文標題、雑誌名（大学の研究紀要等を含む。）、査読の有無、巻、発行年（西暦）及び最初と最後の頁を記入すること。

②学会発表

発表者（代表）名、発表標題、学会等名、発表年月日、発表場所を記入すること。

③図書

著者（第一著者）名、出版社名、書名、発行年、総ページ数（共著の場合は最初と最後の頁）を記入すること。

11. 「研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄について

当該年度内に、この研究に関連して得られた研究成果について産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権）を出願又は取得している場合には、本欄に必要事項を記入すること。発明者と権利者が同一である場合には、権利者の欄には、「同左」と記入すること。

12. 「備考」欄について

研究代表者、所属研究機関または勤務先が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。